

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

◀ 2016年06月 | トップ | 2016年08月 ▶

検索

2016年07月22日(金)

 検索

熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました

アーカイブ

2016.7.20

[共同声明]

入倉・三宅式の過小評価を熊本地震が証明

武村式を用いた規制委の試算を適用すれば
大飯原発3・4号の基準地震動は、856ガルから1,550ガルへ
クリフエッジ1,260ガルを超えて、地震に耐えられず大惨事に

大飯原発の再稼働は断念を！美浜原発3号の寿命延長は断念を！

**川内原発を止め、伊方3号の原子炉起動を中止して
全ての原発の基準地震動を武村式で再計算すべき**

島崎邦彦氏は、熊本地震を踏まえて「入倉・三宅式では地震動は過小評価」との警告を発し、原子力規制委員会・規制庁は7月13日に、大飯原発の地震動を武村式で再計算した結果を公表した。

その結果は、基本ケース(破壊開始点3)で、東西方向の揺れは入倉・三宅式による356ガルが、武村式を適用すると644ガルとなった。原発の津波評価で採用している武村式を地震動に適応すれば、1.81倍になることを示している。大飯原発の基準地震動856ガルは1,549ガルになり、クリフエッジを超えるため大惨事となる。

大飯原発だけでなく、入倉・三宅式で計算されている現行の基準地震動を1.81倍すれば、美浜3号もクリフエッジを超え、高浜原発や玄海原発でもクリフエッジに近づく。

さらに、震源の大きさ(M0)から地震動(加速度)を導く場合、M0の1/3乗を適応しているが、これは単なる仮定であり、片岡ほかの1/2乗を採用すればさらに地震動は大きくなる。

(最大加速度:ガル)

原発／入倉・三宅式による現行の最大加速度／1.81倍した場合／クリフエッジ
※

大飯原発／856／1,549／1,260

美浜3号／993／1,797／1,320

玄海3・4号／524／948／988

高浜3・4号／396／717／973

※)クリフエッジ(崖っぷち):これを超えると炉心の冷却ができなくなり大惨事にいたる地震動

規制委の田中委員長は、7月19日に島崎氏と面談し、自らの再計算結果について「無理を重ねて計算した」「信用できるものではない」等と述べたが、これほど無責任なことがあるだろうか。島崎氏が述べているように、関電の示している基本ケース(破壊開始点3)の東西方向の揺れ596ガルに対して、規制委の356ガルはあまりに過小であるが、このことについての明確な説明もできなかった。さらに、規制庁の小林勝氏は、7月13日の記者会見で、武村式の適用を「不確かさ」として位置付けている。しかし、式そのものを変えることは「不確かさ」ではない。現行の不確かさの全てのケースで用いている入倉・三宅式

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

を武村式に置き換えた計算をすべきだ。これら詳細なデータを規制委が示さない限り、入倉・三宅式の1.81倍の加速度になることを受け入れなければならない。

規制委は自らの再計算結果に基づき、大飯原発、美浜原発3号の再稼働を断念すべきだ。同時に、川内原発を停止し、伊方3号の原子炉起動を中止して、全ての原発の基準地震動を武村式で再計算すべきだ。

2016.7.20 25団体

- ふるさとを守る高浜・おおいの会
- 原発設置反対小浜市民の会
- 原子力発電に反対する福井県民会議
- 福井から原発を止める裁判の会
- プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会
- サヨナラ原発福井ネットワーク
- 原発なしで暮らしたい丹波の会
- グリーン・アクション
- 京都の原発防災を考える会
- 3.11ゆいネット京田辺
- 美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会
- おおい原発止めよう裁判の会
- 脱原発わかやま
- 脱原発はりまアクション
- 花風香の会
- 避難計画を案ずる関西連絡会
- 放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜
- さよなら原発・ぎふ
- 核のごみキャンペーン・中部
- 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
- 川内原発30キロ圏住民ネットワーク
- 国際環境NGOグリーンピース・ジャパン
- 国際環境NGO FoE Japan
- 福島老朽原発を考える会
- 原子力規制を監視する市民の会

<連絡先>

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会
530-0047 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階
TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

グリーン・アクション

606-8203 京都市左京区田中関田町22-75-103
TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

原子力規制を監視する市民の会

162-0822 東京都新宿区下宮比町3-12-302
TEL 03-5225-7213 FAX 03-5225-7214

※基準地震動とは

原子力発電所の耐震設計において基準とする地震動。地質構造的見地から、施設周辺において発生する可能性がある最大の地震の揺れの強さのこと。単位はガル(デジタル大辞泉)

島崎前原子力規制委員会委員長代理との面会について・・・速記録(未定稿)

<http://www.nsr.go.jp/data/000157802.pdf>

「忘災」の原発列島 揺れ過小評価を指摘、島崎元規制委員長代理「過ち繰り返したくない」

<http://mainichi.jp/articles/20160720/dde/012/040/018000c>

2016-07-22 | [記事へ](#) | [コメント\(1\)](#)

2016年07月17日(日)

老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い

脱原発わかやまは7月14日、関西広域連合委員会副連合長である仁坂吉伸と和歌山県知事に対し、要望書(文末に登載)を提出してきました。

要望事項は次の2つです。

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
コメントありがとう by sora(12/05)
突然すみません。東京 by 里美(11/22)
10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
starさんコメントあり by sora(09/14)
このブログを読むまで by star(09/13)
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
現在稼働している大飯 by star(04/09)
廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2016年07月 >						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

1. 7月21日に開かれる次の広域連合委員会の場に、関西電力や原子力規制委員会を呼び、40年超えの老朽原発高浜1・2の寿命延長認可について、安全性や避難計画の問題点を議論すること。
2. 説明会を開催し、市民の意見を聞く場を設けること。

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
記事の投稿
管理
RSS
ログアウト

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

経緯については要望書の文中にあります。関西広域連合は40年延長運転に係る厳格な審査等を求めています(6月16日、「平成29年度国の予算編成等に対する提案」)。にもかかわらず、原子力規制委員会は6月20日に高浜原発1・2号運転延長認可をおこないました。避難計画を案ずる関西連絡会(脱原発わかやまメンバーです)では、今回の認可の審査は関西広域連合が求める「厳格な審査」にはなっていないことを訴え、関西の住民の安全を守るために関西広域連合の「提案」を生かしていくよう、国に求め続けることを要望したものです。

今回、脱原発わかやまでは、仁坂吉伸知事に要望書を提出するとともに、原子力防災に関する和歌山県の体制について県との話し合いを申し出て、急遽実現したという次第です。以下はその話し合いの報告です。



県からは危機管理・消防課より高瀬 課長、瀬川さん、政策審議課より前 副課長、中尾さん＝広域連合担当、産業技術政策課より大川 課長、高木さんの6名が出席していただき、脱原発わかやまからは5名でした。時間は10時～11時15分。

前回の話し合い(本ブログ2015年1月21日号に載せています)から一年半ぶり、担当の方々もかなり入れ替わりがあったようです。そのため話し合いの内容に前回との重複や再確認といった事柄もありました。

危険な老朽高浜原発が延長運転されるのです。熊本のような地震がどこにでも起きる可能性がありながら、しかも避難計画は全く不十分で実効性がない、という訴えをメインに、ヨウ素剤備蓄の必要性、モニタリングポストの設置、近畿の水がめ琵琶湖の汚染、福井以外の伊方や浜岡原発の影響、原発と電気料金の関連、基準地震動(規制委が前日公表したばかり)等々多岐にわたる話題がでました。

和歌山県下では具体的な対応策などは殆どとられていません。「はっきり言って和歌山県では産業技術政策課と原発との直接の関係はない」という発言もありましたが、それはその課だけでなく職員全体の正直な気持ちかも知れないと、感じました。福井の原発群から140*以上はなれ(私たちは遠くはなれているとは全然思わないが)、国の原子力政策や防災対応がどんどん後退していく状況下ですから。

しかし福島原発事故を経験し、熊本の地震によってさらに明らかとなったように地殻変動の激しい日本です。私たちが今ある普通の生活をつぎの世代につなげるためにも、脱原発の主張を止めることは出来ません。その上で私たちは、行政の役割の重要性を顧みるからこそ、繰り返し行政に働きかけ、訴え続けていくのです。

話し合いの中でとくに注意を引いた点を上げておきます。

◎南海トラフ災害との関連を考慮する余地があること
危機管理という点では、現在県下で焦眉の課題となっている南海トラフによる地震・津波の襲来への対策と原子力防災には共通する部分があるのではないか、ということ。
たとえば、高瀬課長も「情報伝達」まではOKだろうと言われていました。たしかに、福島原発事故のときも、行政組織間、行政と住民の間に伝達の断絶があったため、被害を決定的に拡大してしまった事実は、随所に見られました。放射能影響予測システム「スピーディ」を生かせず避難過誤により住民を被ばくさせたことしかり、住民にヨウ素剤を服用させなかったことしかり…。国や行政があらかじめ課題を認識し、対応を誤らねば、避けられた可能性が大きいことばかりです。
災害対策には自然災害であろうが原発災害であろうが、基本は変わらないはず。汎用性があるべきだと思うのです。原子力災害のことも念頭に

おいてほしいと思いました。

◎災害避難に関わる個別の対応の推進

現在、市町村段階で名簿作りに着手している。とくに障がい者、高齢者など避難に課題がある場合(避難行動要支援者)の対応をいかにするか、一人ひとりカルテのようなものをつくりたいと考えている。個人情報の問題があるので、本人の了解をとりながらである。とお聞きしました。

時間と労力はかかるが必要なことだ！と思いました。だがこれは各自治会単位に具体化しないと成り立ちません。避難場所が決まっても、お年寄りや車いすの人たちが、避難場所までいかなる手段で行けるのか、介護する人が来るのか、そのとき電話や電気が通じているのか、道は壊れていないか等、課題は大きい。

さらに個人情報保護も大きな問題です。福島原発事故では個人情報保護関係の法律が障壁となり、強制避難地域では特に高齢者・障がい者の安否情報が伝わらず、避難が困難を極めました。このような事態を教訓に、個人情報保護条例の改正(たとえば南相馬市)や、個人情報保護法の改正(平成28年1月1日付け)など、災害時における個人情報の適切な取扱いを確保するべく法改正も行われています。

住民の生命と暮らしを守るための災害対策には、地震であれ原発事故であれ汎用性があります。南海トラフ地震と原発事故が同時多発という空前の事態だって十分ありえます。

もちろん、原発事故は自然災害とは異なります。南海トラフ災害は止めることはできませんが、原発は止められます。私たちが決意し原発を全廃することが最良の原子力防災につながるのです。

お知らせ

2016年7月13日付の朝日新聞「声」欄に

「老朽原発延命 国民だますな」と題する投書が載りました。

原子力規制委員会と安倍政権の無責任なもたれ合いを批判しています。

投書の主・冷水喜久夫さんは、脱原発わかやまの代表です。

要望書

**7月21日広域連合委員会に、関西電力、原子力規制委員会を呼び
40年超え老朽原発高浜1・2号の寿命延長認可等について議論してください**

和歌山県知事

関西広域連合委員会副連合長 仁坂吉伸 様

私達、避難計画を案ずる関西連絡会は、6月27日、関西広域連合(本部事務局:大阪)に申し入れを行いました。対応は、関西広域連合本部事務局次長・企画課長の坂田氏他2名でした。私達との面談で確認された事項に基づき、今回新たに要望書を提出します。

また、美浜3号の寿命延長についても、原子力規制委員会は7月中旬にも新基準に合格しているとの判断を出そうとしています。これら老朽炉の20年延長運転が認可されていけば、「40年ルール」は形骸化し、今後何十年も危険な原発に依存していくことになってしまいます。

関西広域連合は6月16日、国に「平成29年度国の予算編成等に対する提案」を提出し、その中で、「新規基準の厳格適用及び原発の40年超延長運転に係る厳格な審査」や「関係自治体・住民に原子力発電所の運転の安全性確保について十分な説明を行い、理解を得ること」等を求めていました。しかし、これらを無視して原子力規制委員会は6月20日に高浜1・2号の運転延長認可を行いました。そこで私達は、関西広域連合として高浜1・2号の運転延長認可は認められないとの意見表明等をして欲しいと、「40年超え老朽原発高浜1・2号の寿命延長等に関する質問・要望書」(6月24日)を提出しました。(この質問・要望書は事前に連合長及び各委員にFAXで送っていますので、ご確認ください。)これに基づき、今回の面談は行われました。

坂田事務局次長からは、前日の広域連合委員会でこの問題は取り上げられていないこと、6月20日の認可についてまだ検討していないこと等が述べられました。私達は、質問事項の1つ1つについて、今回の認可の審査は関西広域連合が求める「厳格な審査」にはなっていないことを訴えました。福島からの避難者からは、「事故になれば関西の産業も文化も全てダメになってしまう。そうなる前に国に対して厳しく物申してほしい。福島は立ち直れないでいる。そういうリスクを避けることは優先順位1位の問題だ」との訴えがありました。このままでは関西広域連合の「提案」が単に出したただけになり、関西の住民の安全を守ることはできないとの私たちの訴えを受け止め、以下のことが確認されました。

確認点

- ・関西広域連合は、6月16日に国に提出した「平成29年度国の予算編成等に対する提案」の中で、「40年超延長運転に係る厳格な審査」等を求めていたが、原子力規制委員会が6月20日に高浜1、2号の運転延長認可を行ったので、次のステージに進んだと認識している。
- ・そのため、これに対し関西広域連合として議論していく。
- ・運転延長を認めた認可が、関西広域連合が求めていた「厳格な審査」に基づくものだったのか、関西広域連合としてこれから判断する。
- ・運転延長を認可したことに対して、関西広域連合として意思表示する。
- ・関西広域連合や住民に説明するよう、今後国に求めていく。

私達は、これらの確認点に基づき、以下の要望事項を実施に移すよう求めます。

要望事項

- 1.7月21日に開かれる次の広域連合委員会の場に、関西電力や原子力規制委員会を呼び、40年超えの老朽原発高浜1・2の寿命延長認可について、安全性や避難計画の問題点を議論すること。
- 2.説明会を開催し、市民の意見を聞く場を設けること。

以上

2016年7月14日

脱原発わかやま(代表・冷水喜久夫)

避難計画を案ずる関西連絡会

連絡先団体:グリーン・アクション／原発なしで暮らしたい丹波の会／脱原発はりまアクション
原発防災を考える兵庫の会／美浜の会
この件の連絡先:美浜の会(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会)
大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

[2016-07-17 | 記事へ | コメント\(0\)](#)

2016年07月05日(火)

原発のない社会を投票で示そう！

2011年、東京電力福島第一原発事故に遭って、私たちは原発の怖さを思い知り、「もう原発はいらない」と思ったはずですが、また、この5年間の経験で、原発は無くても大丈夫、電気は足りていることが証明されています。福島事故の後、ドイツは原発を止めるエネルギー政策に切り替えました。ドイツに出来て日本に出来ないことはないと思います。

ところが、安倍政権は、前政権からの方針「2030年代に原発ゼロ」を転換し、原発依存に回帰しました。「原発は重要なベースロード電源」とし、原発エネルギー比率20～22%（2014年、閣議決定「エネルギー基本計画」）を打ち出しました。

原子力規制委員会は6月20日、老朽炉・関西電力高浜原発1・2号機について、60年まで運転期間延長を認可しました。原子炉本体やケーブルの劣化が進んで危険極まりない老朽原発。事故の後「原発を運転できる期間は40年」と定めた（原子炉等規制法）ルールを骨抜きにし、原発依存を推進するものです。

私たちは、老朽原発を含むすべての原発の再稼働に反対です。

地殻変動が激しい日本は、熊本のような巨大地震がいつどこで起きてもおかしくない状況です。
いったん大事故が起こると原発は、広範囲のちや環境を破壊します。福島原発事故の教訓は原発を止めることです。
そればかりか、原発は、未来の子どもたちに核廃棄物の重いツケを残しています。これ以上は許されません。
電力会社の儲けや採算性のため、原子力産業の原発輸出のため、核保有の安全保障＝戦争できる国づくりのための原発政策には断固反対です。

今回の選挙では原発問題はあまり争点になっていないですが、どの候補者が、どの党が脱原発をかかげているか実践しているか、目と耳を凝らして見届けて、選挙に行きましょう！
戦争に加担しない国。原発を止めた国。それは私たちの意思表示で、可能

になるのです。あなたはどんな国にしたいのですか？



7月3日和歌山市内にて

2016-07-05 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2016年07月04日(月)

原発がこわい女たちの会ニュース98号発行

女たちの会では7月3日付で、ニュース98号を発行しました。内容は以下の通り。

【 CONTENTS 】

- *福島事故の教訓どこへ 関西電力高浜原発1、2号機運転延長を認可
- *高浜3、4号機→大津地裁仮処分その後の動き
- *報告:4月12日～14日・福島県を訪れました(割愛・本ブログ4月26日号)
- *福島にて話をお聞きしました。「生きるということ」①
- *報告・原発がこわい女たちの会結成29年のつどい
- 「チェルノブイリ30年・福島5年を考える」(割愛・本ブログ5月8日号)
- *事故時5歳児、甲状腺がん～悪性・悪性疑い173人
- *報告・5月28日田辺市で「脱原発わかやま」の総会
&「寺井拓也さんを偲ぶ会」
- *お知らせ・原発がこわい女たちの会拡大世話人会の開催
- *後記

■福島事故の教訓どこへ

6月20日、関西電力高浜原発1、2号機を
原子力規制委員会は40年超え60年まで運転延長を認可した。

東京電力福島第一原発事故を経験した民主党政権下では30年代に「原発ゼロ」を目指すとしていたが2012年末、自民党安倍政権に交代し、「原発回帰」へと一変した。

安倍政権下では2030年度の総発電量に占める原発の割合を20～22%とする計画を決めた。同じく事故を教訓とした運転期間の「40年ルール」も形骸化。運転延長は「極めて例外」のはずが今後も老朽化した40年超の原発を運転させる。

高浜1、2号機の運転延長の審査は7月7日までに終了しないと廃炉になるために、熊本の地震についても無視したまま運転延長を認めた。なお適合性に係わる追加安全対策で2160億円かかり、再稼働の時期も工事が終わる2019年10月以降だ。

なお同じく運転延長を申請している美浜3号炉は11月末が審査の期限。

◇6月20日に共同声明を出しました。同封しています。
60年運転延長の原子炉は再稼働するまで時間があります引き続き反対して行きましょう。

◇「老朽原発は廃炉に」の署名用紙同封しています。9月末まで
管理人より:
ネット署名フォームと紙版を再掲しておきます。よろしくお願ひします。
ネット署名フォームはこちらです。
<https://fs224.formasp.jp/f389/form1/>

紙版はこちらです。

http://www.jca.apc.org/mihama/hairo/sig_hairo201604.pdf

■高浜3、4号機→大津地裁仮処分その後の動き

今年の3月9日の高浜3、4号機の仮処分決定に対して、(女たちのニュース97号に記載)関西電力は執行停止申し立てをしていました。これに対して、6月17日、大津地裁は却下する決定をしました。今後、少なくとも仮処分異議に対する決定が出るまでの間、関西電力は高浜3、4号機の運転が出来ないことが確定しました。

■橋毅氏に恐る恐る話をお聞きしました。「生きるということ」→①

2016年4月13日～14日

梅原清子さんがJR本宮駅から帰られた後、私は橋さんご夫妻の仮設住宅で、今までいつも運転して下さっていて、話をする機会がなかった橋毅氏に話を聞く機会を持っていただいた。が宿泊する「浅香荘」の夕食タイムもあって途中で失礼して翌日、続きを聞くことになった。それでも時間が足りなかった。

1937年東京で生まれ、戦争で福島に強制疎開。いじめにあった。子どもだけではない、大人からも。言葉の違いが大きかった。ポコポコにされながら殴られても、じーと我慢して殴らなかつたそうです。農家の子供は銀シャリで、僕は風呂敷を背中に、弁当箱の中はサツマイモ2個であった。福島事故の疎開で70年前の嫌な経験がよみがえった。と話されました。

敗戦後福島の実家へ。仙台で土方仕事をしながら大学を5年で卒業し、東京の企業に4年半勤めた。父の病気で福島に帰ってきたが就職先がなく、その当時公務員は大卒を採用しなかった。それで28歳で教員免許を取得し29歳から中学校の先生になったそうです。そして初めて赴任した学校が請戸中学校。

今回希望して東北震災から5年目の請戸港に行ってもらった時、請戸港は工事中で立入れなかった。港のすぐそばから集落の跡が、流された家の土台が残っていた。その土台だけの集落跡を歩いていたとき、毅氏は最初教えた請戸中学の一番の悪ガキが、船を新しく造ったので、進水式に来てほしいといわれている。と嬉しそうに話して下さった。災害で命を落とさずに生き残っていたのと、新しく息子の船を作り漁師として次の世代へ引き継いでいこうとしている。一番の悪ガキで手が付けられない位だったと言いながらも、何ともうれしそうな毅氏の姿を請戸港で見ることが出来ました。



毅氏のホームグラウンドだったところが、家も人も流され、もう元には絶対戻らない。人も自然環境もばらばらに汚染されてしまった。毅氏の内なる慟哭が少し分かったような気がしました。(松浦雅代)

■事故時5歳児、甲状腺がん～悪性・悪性疑い173人

投稿者: ourplanet 投稿日時: 月, 06/06/2016 - 13:00

東京電力福島第一原発事故後、福島県が実施している「県民健康調査」の検討委員会が6日、開催され、事故当時5歳だった子どもにも甲状腺がんが見つかったことが分かった。検討委員会では3月末に発表した「中間とりまとめ」において、「事故当時5歳以下からの発見がないこと」などを理由に、「放射線の影響とは考えにくい」と評価していた。1巡目と2巡目の健診をあわせて、悪性・悪性疑いと診断された子どもは、前回より6人増え、172人となった。

本格検査(2巡目)結果～2014年～2015年

福島県立医大の大津留晶教授はまず、2014年から2015年に実施された本格検査(2巡目)の結果を報告した。それによると、2次検査で穿刺細胞診を行い、悪性または悪性疑いと診断された子どもは前回より6人増えて57人となった。

57人の先行検査結果は、A1が28人(49.1%)、A2が25人(43.8%)、B判定は4人(0.7%)だった。A2判定だった子どもうち、結節があった子どもは17人、なかった子どもが18人だった。平均腫瘍径は10.4ミリで、最大は35.6ミリだった。この2年間で腫瘍が急成長した可能性がある。

また年齢は、最年少が事故当時5才と、はじめて事故当時5歳以下の子どもが甲状腺がんと診断された。チェルノブイリでは、5歳以下の子どもが多数甲状腺がんとなったことから、検討委員会はこれまで「被曝の影響とは考えにくい」との見解を示してきた。一方、事故当時5歳以下の子どもに甲状腺がんが多発したのは、事故5年以上経ってからと指摘する研究者もあり、今後、この世代で甲状腺がんが多発するかどうか、ひとつの焦点となる。

男女比は男性25人に対して女性は32人と約3:4の比率となっている。甲状

腺がん専門医である清水一雄委員が、「通常の乳頭がんは男女1:7。男性の比率が多いことについて検討しているのか」と質問。これについて大津留氏は、集計の問題であるなどと回答した。

本格検査で摘出手術を受けたのは14人増えて30人となり、全員が乳頭がんと診断された。

先行検査(1巡目)結果～2011年～2013年

次いで、2011年から2013年まで実施された先行検査(1巡目)の確定結果が公表された。前回の口頭発表と変わらず、穿刺細胞診で、悪性または悪性疑いと診断された子どもは116人と報告された。

平均年齢は震災当時14.9才で、最年少は震災当時6才。男女比は男性39人に対して、女性が77人と約1:2の比率だった。また平均腫瘍径は13.9ミリで、最大は45.0ミリだった。

すでに摘出手術を受けたのは102人で、手術後の組織診断によって、乳頭がんが100人、低分化がんが1人、残る1人は良性結節だった。これまで低分化がんは3人公表されてきたが、昨年11月に甲状腺がん取り扱い規約が改定されたことに伴う変更という。

■報告 5月28日10時30分～「脱原発わかやま」の総会が田辺市でありました。

2年ごとの役員改選の年で、代表は白浜町日置の冷水喜久夫氏 事務局長は田辺市の田中友氏

副代表は串本町の中西仁士氏と 和歌山市の松浦雅代氏 会計は新宮市の濱野兼吉氏に決まりました。

お昼からは同じ会場で「寺井拓也さんを偲ぶ会」が開催されました。



寺井拓也さんありがとう。

寺井拓也さんは4月14日に癌で亡くなりました。(享年70歳)

昨年6月に「脱原発わかやま」の総会が田辺市で開催され福井の中嶋哲演氏の話をお聞きしました。その時少しご自分で風邪気味です。と言われていました。

終了後ホールの前で田辺市の人たちと知事候補がないか、何とかしたい話をしておりました。寺井夫妻もおられました。それから1年も経たないうちに亡くなられるとはこの時、誰も思いもしませんでした。寺井さん自身もそうだったと思います。

1996年に当会で「暮らしとエネルギー」講師寺井拓也氏(田辺市・つゆくさの会)の記録があります。が私は余り覚えていません。2000年2月に故高木仁三郎さんが和歌山に来られた時、高木さんご夫妻を白浜の南方熊楠館やお泊りになった湯峰の旅館にご案内されたのは寺井さんであったと、忍ぶ会が終わってしまったから思い出したのです。あまり目立たずにしかし安心して任せることができる人でした。

2010年に汐見文隆氏から「脱原発わかやま」の代表を引き継ぎ、その翌年2011年に福島原発事故が起き、デモや抗議文等の初めての経験の中で果敢に行動されました。「原発を拒み続けた和歌山の記録」の編集、出版は寺井拓也さんの努力なしではなし得なかったと思います。

あらためて 寺井拓也さんありがとう。

(松浦雅代)

ご冥福をお祈りいたします。

~~~~~

■会員の皆さまへお知らせ

原発がこわい女たちの会拡大世話人会を開催します。

◎8月4日(木曜日)13:00～16:00 ◎テーマ「女の会30年目に入って」

場所ボランティアサロン(前丸正百貨店)6階D会議室

■<記>

☆女たちの会の会計報告と郵便口座振り込み用紙を同封します。7月中に会費納入をお願いします。

蒸し暑い。原発を止めるため。戦争を止めるため。声をかけて投票に行こう! 7月10日投票日。

